

今号に「ぐんま広報11月号」が折り込まれています。ぜひご覧ください

群馬県議会だより

第102号

題字は群馬県立伊勢崎清明高等学校2年生 書道部 木村 唯莉さんの書道作品です

発行/群馬県議会 編集/県議会図書広報委員会
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 TEL 027-226-4131 (政策広報課)

第3回前期定例会開催



富岡製糸場（富岡市）

本年、「富岡製糸場と絹産業遺産群」は世界遺産登録から10周年の節目を迎えました。世界の絹文化へ多大な影響を与えた日本の製糸業。富岡製糸場はそのシンボルとして、その歴史と価値を語りかけます。

第3回前期定例会のあらまし

▶令和6年第3回定例会は、9月19日から12月13日までの86日間にわたって開催されています。
今回は、10月10日までの前期定例会についてお知らせします。
10月11日以降については、次号に掲載します。

▶議案

9月19日には、知事から、災害時のトイレ環境の改善に向けた平時でも利用できるトイレコンテナの導入や、GunMaaSの更なる普及のための社会実証事業を行う経費、通学路の安全対策としての除草や横断歩道等の塗り替えのための経費等、**86億6,953万円を増額する一般会計補正予算案**など**13議案**が提出されました。9月30日には人事案件**3議案**が、10月10日には、令和5年度決算の認定など計**4議案**が提出されました。

議会からは、委員会提出議案として、決算特別委員会の設置に係る議案1件、意見書案3件の計**4議案**が発議されました。

▶質疑及び一般質問

12人の議員による質疑及び一般質問が行われ、県政全般について活発な議論が交わされました。（3面参照）

▶常任委員会・特別委員会

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や所管する事項などについて審査を行いました。

▶議決

議決は、9月30日及び10月10日に行われました。
知事から提出された**議案**は、決算特別委員会に付託された決算に係る議案を除き、全て**可決・同意**されました。

議会から発議された**議案**は、いずれも**可決**されました。また、**7件の**請願が採択されました。



▶可決された主な議案

- 令和6年度群馬県一般会計補正予算（第4号）
- 群馬県行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の一部を改正する条例

▶可決された主な意見書

- 福祉医療機構が行う、社会福祉施設職員等退職手当共済制度に係る公費助成の継続を求める意見書
- 食料・農業・農村基本法改正に伴うコスト構造の実態調査において「きゅうり及びなす」を対象品目とすることを求める意見書

常任委員会の活動 調査を本県施策の進展に役立てます

県議会に設置されている委員会では、担当する所管事項について、現場に出向いて調査活動を行っています。県の部長や課長も同行し、先進的な取組などを調査することで、今後の施策の進展に役立てています。

今号では、8月に実施した5つの常任委員会による県内調査の詳細をお知らせします。

CHECK! 各委員会名の横にあるQRコードから調査の詳細がご覧になれます



観察犬室について説明を受ける様子

○群馬県発達障害者支援センター（前橋市）

【調査目的】社会福祉・社会保障の充実
同センターが行っている相談支援、発達支援、就労支援の取組や、支援機関への技術的助言等のサポートについて調査を行いました。

○ハッ場発電所（吾妻郡長野原町）

【調査目的】公営企業の推進
ハッ場ダムの放流水を利用し、発電時に二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギーである水力発電を主力としている同発電所について調査を行いました。

○上信自動車道渋川西バイパス（渋川市）

【調査目的】道路・橋梁の整備促進・維持管理
関越自動車道と上信越自動車道を結ぶ上信自動車道のうち、令和7年度の開通を目標としている同バイパスの開通に向けた現地の状況を調査しました。



工事の進捗状況について説明を受ける様子

総務企画常任委員会



委員長：亀山 貴史、副委員長：松本 隆志
委員：酒井 宏明、安孫子 哲、薬丸 潔、大和 勲、井田 泰彦、高井 俊一郎、鈴木 敦子、今井 俊哉
【調査日程】令和6年8月23日（金）

○群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク（渋川市伊香保町）

【調査目的】スポーツの振興
令和7年1月に開催される「伊香保国スポ2025」の会場となる予定の同施設の現状と、新たな取組について調査を行いました。



伊香保リンクを視察する様子

健康福祉常任委員会



委員長：秋山 健太郎、副委員長：須永 聡
委員：井田 泉、加賀谷 富士子、森 昌彦、入内島 道隆、粟野 好映、大沢 綾子、中島 豪
【調査日程】令和6年8月23日（金）

○群馬県動物愛護センター（佐波郡玉村町）

【調査目的】ペットとの共生推進の実現
犬猫の引取りなどの保護管理や、犬猫の譲渡事業など多様な業務を行っている同センターの取組について調査を行いました。

環境農林常任委員会



委員長：牛木 義、副委員長：追川 徳信
委員：久保田 順一郎、狩野 浩志、あべ ともよ、金井 康夫、宮崎 岳志、水野 喜徳
【調査日程】令和6年8月20日（火）

○くらぶち草の会（高崎市倉渕町）

【調査目的】食料・農業・農村振興対策
農業や化学肥料に頼らず、堆肥などで豊かな土地をつくり作物を育てる農法を実践している同会の取組について調査を行いました。

○浅間家畜育成牧場（吾妻郡長野原町）

【調査目的】食料・農業・農村振興対策
県内各地域より乳用育成牛を受託し、飼養管理に携わっている同牧場の取組や、現在整備中である施設等の進捗状況について調査を行いました。



浅間家畜育成牧場で説明を受ける様子

産経土木常任委員会



委員長：松本 基志、副委員長：鈴木 数成
委員：星野 寛、後藤 克己、井下 泰伸、伊藤 清、穂積 昌信、金沢 充隆、丹羽 あゆみ、清水 大樹
【調査日程】令和6年8月22日（木）

文教警察常任委員会



委員長：大林 裕子、副委員長：矢野 英司
委員：橋爪 洋介、星名 建市、水野 俊雄、金子 渡、川野辺 達也、本郷 高明、斉藤 優、相沢 崇文
【調査日程】令和6年8月22日（木）

○群馬県総合教育センター（伊勢崎市今泉町）

【調査目的】教育体制の確立
令和6年6月に開設した「つなぐんオンラインサポート」（通称「つなサポ」）による3Dメタバースを活用した不登校児童・生徒への支援の取組状況について調査を行いました。



「つなサポ」について説明を受ける様子

○群馬県立みらい共創中学校（伊勢崎市今泉町）

【調査目的】教育体制の確立
令和6年4月1日に開校した群馬県初の夜間中学における、多文化共生をより一層推進するための取組状況について調査を行いました。

そのほか、7月に実施した県外調査は、次のとおりです。

総務企画常任委員会

- 調査先 岩手県・宮城県・東京都 ■日程 7月17日～19日
- 調査目的・対象
- 世界遺産の保護及び活用…岩手県立世界遺産ガイダンスセンター及び中尊寺
- 中小私鉄への支援…岩手県三陸鉄道強化促進協議会
- グリーンイノベーションの推進…東北大学レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター
- 防災対策・防災教育の推進…震災遺構仙台市立荒浜小学校
- 移住・定住の促進…ふるさと回帰支援センター及びぐんま暮らし支援センター

健康福祉常任委員会

- 調査先 福岡県 ■日程 7月17日～19日
- 調査目的・対象
- 保健医療の充実…九州大学病院子どものこころの診療部
- 子ども政策の充実…北九州市役所
- 介護経営の大規模化・協働化推進…社会福祉法人北筑前福祉会
- 里親制度・ヤングケアラー相談窓口等の推進…認定特定非営利活動法人SOS子どもの村JAPAN子どもの村福岡

環境農林常任委員会

- 調査先 福岡県・佐賀県・長崎県 ■日程 7月23日～25日
- 調査目的・対象
- 森林保全等の林業振興対策…株式会社ヤママップ
- 有害鳥獣対策…株式会社三生
- カーボンニュートラル・循環型社会の推進…田中鉄工株式会社
- 環境負荷低減・資源循環型農業の推進…農業法人株式会社菌ちゃんふぁーむ

産経土木常任委員会

- 調査先 熊本県 ■日程 7月23日～25日
- 調査目的・対象
- 災害復旧対策…新阿蘇大橋
- 水力発電設備リニューアル工事の推進…緑川第一発電所
- デジタルコンテンツによる観光振興…人吉球磨観光地域づくり協議会
- 半導体産業の振興…熊本県商工労働部

文教警察常任委員会

- 調査先 兵庫県・岡山県・徳島県 ■日程 7月17日～19日
- 調査目的・対象
- 不登校・ひきこもり支援…兵庫県立神出学園
- 部活動地域移行における学校と地域の連携…岡山市市民生活局・教育委員会
- インクルーシブ教育システムの推進…玉野市教育委員会
- アプリを活用した防犯対策…徳島中央警察署

質疑及び一般質問

令和6年9月25日、26日、30日に開催された質疑及び一般質問では、次の議員が質問を行いました。各議員の質問の中から1問をピックアップし、その要旨を掲載します。

CHECK! 白熱議論を映像でご覧ください!

下の各議員の横にある二次元コードから、掲載の質疑及び一般質問の映像を見ることができます

9月25日(水)



穂積 昌信 自由民主党
(太田市)



▶ぐんまこどもの国児童会館について

Q ぐんまこどもの国児童会館のリニューアルについて、進捗状況はどうか。また、今後の予定を伺いたい。

A 生活こども部長

県民から寄せられた意見等を踏まえ、リニューアルに係る基本方針を①児童会館の「シンボル」の創造、②わくわくできる遊びの空間の創出、③こどもが企画・運営に参画、④公園との遊びの連携の4つの柱にまとめた。今後、展示内容や施設整備の方針を具体化していく。県民の皆様、これまで以上に愛される、よりよい施設として生まれ変わるよう、しっかりと検討を進めたい。

9月26日(木)



大和 勲 自由民主党
(伊勢崎市)



▶県営住宅について

Q 共益費を県が徴収・管理する制度が来年度から実施されるが、申込み状況について伺いたい。

A 県土整備部長

県が管理人に代わって共益費を徴収・管理できる制度を令和7年度から導入するため、令和6年3月に条例及び規則の改正を行った。申し込みには各団地入居者の4分の3以上の合意が必要で、現在のところ98団地のうち19団地から申し込みがあった。引き続き申し込みの相談を受け付けており、本制度の対象とする団地の追加等について検討を行っている。業務が適正に実施できるよう準備を進めてまいりたい。

9月30日(月)



鈴木 数成 自由民主党
(前橋市)



▶群馬県の教育の課題について

Q 教育現場では欠員により教員数が不足していると聞かすが、現状と県の取組を伺いたい。



A 教育長

教員の欠員状況は、9月1日現在で、市町村立学校で17名、県立学校で7名となっている。欠員解消の対策として、臨時教員の希望者を増やす取組を行っている。また、採用試験の募集人数を増やすとともに、教員の多忙化解消に向けた取組を進めている。今後も、国による産休・育休代替教員の加配定数による支援等を活用しながら、先生方が安心して働ける環境整備に取り組んでまいりたい。



井田 泰彦 つる舞う
(桐生市)



▶県で設置している基金の運用について

Q 基金の運用実績はどうか。少しでも有利な運用方法の研究はしているのか。

A 会計管理者

群馬県では令和5年度末時点で29の基金が設置されており、残高は2,251億円となっている。このうち988億円は債権、1,263億円は預金により運用しており、これらの令和5年度の運用益は8億9,900万円であった。基金の運用は安全性を確保した上で、より多くの運用益が得られるよう効率的な運用に努めており、今後も継続して最新の知識や情報収集を行い、運用益の確保に努めてまいりたい。



清水 大樹 公明党
(高崎市)



▶ファシリテッドッグ^(※2)について

Q 導入の検討状況とファシリテッドッグの育成にかかる外部団体の活用について伺いたい。



A 病院局長

令和5年度に小児医療センターで開催された体験イベントでは、セラピー効果があると好意的に受け止められた。マスタープランの策定にあたって実施した部門ヒアリングにおいても、導入に前向きな意見があり、設備整備の検討を行っている。導入に向けた様々な課題を踏まえ、外部団体の活用なども含め、どのような手法で導入し、運用していくことが望ましいのか、関係部局と連携して検討してまいりたい。



あべ ともよ つる舞う
(太田市)



▶有機農産物の給食への使用促進について

Q 若い世代に有機農産物や循環型農法の重要性を知ってもらうことは大切である。学校給食に地域の有機農産物等を積極的に使用していくことは効果が大きいと考えるがどうか。

A 農政部長

県立特別支援学校に群馬県産有機農産物を提供する実証事業を、令和5年度から実施しており、生徒や教職員から好評を得ている。また、いくつかの町村の小・中学校でも県と同様の取組が始まっている。学校給食に地域の有機農産物等を使用していくことは、理解促進と活用拡大の機運醸成に大変効果的である。引き続きこの事業を進めるとともに、生産者、生産量の拡大にも取り組んでまいりたい。



追川 徳信 自由民主党
(高崎市)



▶群馬県内の道路の除草について

Q 車道や歩道の除草のため、道路の維持管理予算を拡充する必要があると考えるが、県の取組について伺いたい。

A 県土整備部長

今年は猛暑の影響で歩道が雑草に覆われ、車から歩行者が見えにくく危険との意見が多く寄せられていることから、通学路などの除草を追加で実施するため、9月補正予算案に所要額を計上したところである。今後も、より効果的な対策を確立できるよう、新たな除草対策や防草対策に関する試行・検証に取り組み、安全で快適な道路空間の確保に向け、適切な維持管理に努めてまいりたい。



矢野 英司 自由民主党
(富岡市)



▶世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の活用について

Q 富岡製糸場の動態展示の実現に向けた知事の思いを伺いたい。

A 知事

今年、世界遺産登録から10周年を迎えた。富岡製糸場の繰糸機の動態展示については、観光庁の事業を活用し、実現可能性について調査・検討を行っている。繭から糸が引かれていく様子を目で見、機械が動く音を耳で聞く。五感を刺激する見学ができれば、生きた世界遺産としてその価値をより強く伝えることができる。動態展示の実現には、様々な課題があるが、真剣に検討したい。



入内島 道隆 自由民主党
(吾妻郡)



▶地方主権(連邦制)国家構想について

Q 権限が地方に移譲され、市民の声が届く政治になれば、地方の再生に繋がると考えるが、知事の考えを伺いたい。

A 知事

どのような体制にもメリットとデメリットがあり、大事なものは国と地方の権限のバランスである。地方分権はさらに進めるべきで、税財源の移譲などを国に働きかけていきたい。また、県民の声を聞くには政治家の努力が必要であり、知事として一生懸命吸い上げている。地方分権の不十分な点は知恵と工夫で乗り越え、地方から日本を変えていく、という気概をもって県政運営に取り組みたい。



後藤 克己 リベラル群馬
(高崎市)



▶公契約条例^(※1)について

Q 賃上げの好循環と社会的価値の向上を生み出すために、公契約条例を制定すべきと考えるがどうか。

A 知事

公契約条例制定の主な目的は、契約の透明性、公正性の確保や、労働環境の整備であると考え。条例の制定は、自治体が目指す政策の方向性や目標が広く県民や事業者と共有され、ともに取組を進めることができることから、政策実現のための有効な手段のひとつである。今後、課題を整理しながら、条例制定の可能性について、現行の法令との整合性も考慮しつつ、真剣に検討してまいりたい。



大沢 綾子 日本共産党
(高崎市)



▶最低賃金について

Q 本県でも地方最低賃金審議会や労働局に対して最低賃金の大幅引上げに向けた働きかけを行うべきと考えるが、知事の思いを伺いたい。

A 知事

今年度の最低賃金の議論に関し、複数の知事が大幅引上げを求める要望を行ったことは承知している。最低賃金の大幅な引き上げは、賃金水準の底上げに繋がる一方、中小・小規模事業者に対して負担増を強いることから、労使双方の利益と影響のバランスを考慮した上で定められるべきものであり、国等への働きかけを行うことは、現状では考えていない。



久保田 順一郎 自由民主党
(邑楽郡)



▶千代田町と熊谷市を結ぶ利根川新橋について

Q 利根川新橋に係る現在の進捗状況と今後の事業の工程について伺いたい。



A 県土整備部長

令和6年3月に開催した地元説明会を経て、測量基準点の設置や地質調査を実施し、ドローンによる地形測量が終了した。また、新橋を含むルートを具体化するための道路予備設計にも着手した。今後、地域の声を道路計画に反映するためのアンケート調査を実施し、地域の方々と合意形成を図りながらルートを決める。引き続き、関係機関と連携及び調整しながら、調査設計等を進めてまいりたい。

※1 公契約条例…公契約とは一般的に、当事者の少なくとも一方が自治体等の公の機関である契約を指し、公契約条例とは、公契約に係る手続きを通じて、その自治体における政策を実現するために必要な事項を定める条例
※2 ファシリテッドッグ…重い病気の子もたちに寄り添い、子どもたちとその家族の心を癒やし、闘病生活の支えになる専門的な訓練を受けた犬



若者の政治への関心を高める取組

「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」を開催！

開催結果の詳細はこちら



若者の政治への関心を高めるため、第3回前期定例会中の9月25日(水)に、「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」を開催し、県内の5大学から計35名の大学生が参加しました。

大学生の皆さんは、本会議を傍聴した後に県議会議員と積極的に意見交換を行い、政治や議会への関心を深めました。

【参加大学】県立女子大学、県立県民健康科学大学、高崎経済大学、関東学園大学、東京福祉大学



▲議場内で一般質問のやりとりを傍聴



▲議員との意見交換

令和5年4月に行われた群馬県議会議員選挙における群馬県全体の投票率は39.51%で、前回より3.98ポイント下がりました。現在、いずれの選挙でも他の年代と比べて、若年層の投票率は低い水準にとどまっていることから、群馬県議会では、本事業のほかにも議員が高校を訪問して生徒と意見交換をする取組を行うなど、主権者教育に力を入れています。

参加学生の感想

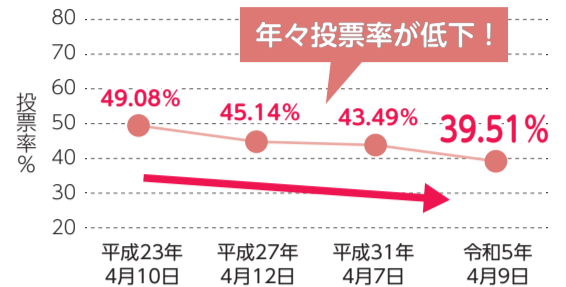


●**県立女子大学3年 田村 優菜さん**
一般質問を傍聴して、群馬県の課題や、それに対する解決策などの議論を聞くことができ、興味深かったです。意見交換では、議員としてやりがいを感じる瞬間や、難しいと感じていることなどを聞き、熱い思いを持って取り組んでおられるのだと思いました。議員から、「地域を良くしていくために議員を使ってほしい」と伺い、政治に興味を持つことができました。次の選挙には参加したいです。



●**関東学園大学1年 内田 朋寿さん**
初めて議会を傍聴しましたが、思っていたほど堅苦しくなく、面白く感じました。意見交換では議員から、人との繋がりや、見聞を広めることが重要であるとお話を聞き、今後の大学生活の中で、いろいろな経験を積んでいきたいと思いました。今回の経験を通して、選挙で投票することは大事だと感じたため、次の選挙には行きたいと思いました。

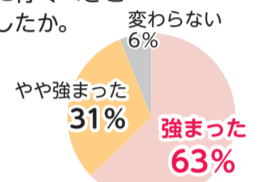
群馬県議会議員選挙における投票率の推移



参加者アンケート

Q 「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」への参加を契機に、選挙に行くべきとの気持ちが強まりましたか。

A 参加者の94%が、「強まった」「やや強まった」と回答しました。



参加議員の感想

●**議会基本条例推進委員会 星名 建市委員長**
大学生の皆さんから「初めて議場にきてとても感動した」という言葉をいただき、大変嬉しく思いました。意見交換では、皆さん前向きで、一生懸命であるという印象を受けました。県議会を実際に見たり、議員と直接ふれあったりすることで、若い人たちの主権者意識を高めていけるのではないかと改めて感じました。今後もこのような取組を継続していきたいと思っています。



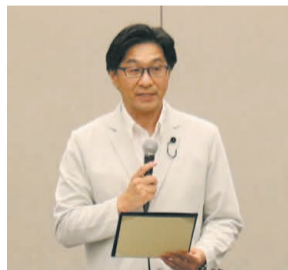
NEWS

「関東甲信越1都9県議会議長会」を開催しました

令和6年8月21日、関係都県の緊密なる連絡と、相互援助による地方自治の発展を図るため、関東甲信越1都9県議会議長会を群馬県で開催しました。

会議においては、本県の須藤和臣議長の進行により、「首都直下地震を想定した広域での避難者の受入れや支援について(群馬県提出)」など、各都県から提案された10の議案について協議しました。

採択された議案については、国に対して要望等を行いました。



あいさつをする須藤議長

※関東甲信越1都9県議会議長会の構成
東京都、神奈川県、千葉県、茨城県、栃木県、埼玉県、山梨県、長野県、新潟県、群馬県の議長及び副議長

令和6年第3回後期定例会のご案内

会期は11月25日から12月13日までの予定です。

テレビやインターネットによる中継をしています。ぜひご覧ください。本会議・委員会は、どなたでも傍聴することができます。

月日	曜日	議事予定	月日	曜日	議事予定
11月25日	月	本会議 (後期開会・提案説明)	5日	木	常任委員会
28日	木		6日	金	
29日	金	本会議 (質疑及び一般質問)	10日	火	特別委員会
12月3日	火		13日	金	本会議 (委員長報告・議決・閉会)

※会期は予定ですので、変更される場合もあります(開会はおおむね午前10時からです)

県議会中継

テレビ 群馬テレビ 午前10時～(生中継)

本会議(質疑及び一般質問)をご覧ください。

インターネット 県議会ホームページ【議会中継】(生中継・録画)

本会議(全日程)をご覧ください。



スマートフォンでの視聴はこちらから↑

議会図書室について

一般の方もご利用いただけます。

利用時間：平日の午前8時30分から午後5時15分まで(土曜日・日曜日・祝日、年末年始は休室しています)

▶利用案内詳細は、右の二次元コードからご覧ください。



県議会だより電子書籍版(カATALOGポケット)は、スマートフォンや、タブレット端末等でご覧になれます。音声読み上げ機能(10言語)にも対応しています。閲覧方法は、こちらからご確認ください。



過去の県議会だよりは、こちらからご覧ください。



県議会ホームページ 群馬県議会 検索
県議会の最新情報は公式 SNS でも発信しています。



群馬県議会YouTube

群馬県 YouTube 公式チャンネル tsulunus



「県議会だより」は図書広報委員会で編集しています

県民の皆さまに県議会の役割や活動を知っていただくため、「群馬県議会だより」を図書広報委員会で審議・編集し、発行しています。

図書広報委員会
委員長：相沢 崇文
副委員長：矢野 英司
委員：加賀谷 富士子、松本 基志、
栗野 好映、須永 聡、鈴木 数成、
松本 隆志、清水 大樹、中島 豪



- 「県議会だより」は年4回発行しています。次号は、令和7年1月1日(水)発行予定です
- 「県議会だより」のご意見については、政策広報課へお寄せください

☎ 027-226-4131 FAX 027-221-8201 ✉ giseisaku@pref.gunma.lg.jp